

安全データシート

SAFETY DATA Sheet

SDS ID 番号 : 000001-01
 Never-Seez Regular Grade NSA-16 Aero
 Bostik Inc. (製造者)
 製造者全面改訂 2002 年 08 月 23 日
 製造者部分改訂 2007 年 12 月 4 日
 輸入者部分改訂 2017 年 05 月 01 日

安全データシート(SDS)は、当該品の製造元である米国 Bostik 社製作 SDS(英文)を弊社にて翻訳したものである。
 Bostik 社 SDS は米国および欧州の SDS 作成指針に基づいて作成されている。 < > 部分は本邦に於ける最新 SDS 作成指針 (JISZ 7253) に基づき弊社が必要と判断し追加記載したものである。

SECTION 1 - 製品 及び 会社情報

製品名 : NEVER-SEEZ REGULAR GRADE AERO
 (ネバーシーズ標準グレード エアゾール)
 化学族 : 焼付き防止・潤滑剤
 当該 SDS 対象商品 : NSA-16, NSA-16Japan
 製造会社 : Bostik Inc. 米国 マサチューセッツ州
 輸入者 : 極東貿易株式会社 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 7 階
 Tel 03-3244-3846

SECTION 2 - 組成、成分情報 <対象成分 及び 被爆限界情報>

<単一製品・混合物の区分> : 混合物
 <化学名又は一般名> : エアゾール潤滑剤

成分名	CAS 番号	重量%*	ACGIH-PELs-TWAs	OSHA-VPELs-TWAs
ヘプタン	142-82-5	15-40	400ppm	400ppm
ブタン	106-97-8	7-13	1000ppm	800ppm
プロパン	74-98-6	7-13	1000ppm	1000ppm
アセトン	67-64-1	7-13	500ppm	750ppm
銅粉末	7440-50-8	1-5	0.2mg/m3	0.1mg/m3
アルミニウム片	7429-90-5	0.5-1.5	10mg/m3	15mg/m3

* 合計%値が 100 未満であれば、本品の残り部は危険品とはみなされない (OSHA Hazard Communication Standard 29 CFR 1910.1200 にて規定)

* * Bostik は職業暴露限界 (OEL) 値は US OSHA VPELs-TWAs, ACGIH OEL-TWAs ないし製造メーカーの推薦限界値より低い (厳しい) 値を推薦する。

N/A = 入手不可、 N/D = 未測定

危険有害成分

PRTR 法 非該当

労働安全衛生法第 57 条の 1 通知対象物 アセトン

労働安全衛生法第 57 条の 2 通知対象物 アルミニウム、銅、ヘプタン、ブタン

毒物劇物取締法 対象物はなし

SECTION 3 - <危険有害性の要約>

GHS 分類: 記載のないものは分類対象外または分類出来ない。

物理化学的危険性:	可燃性エアゾール	区分 1
	引火性液体	区分 3
健康に対する有害性:	急性毒性 (経口)	区分外
	急性毒性 (経皮)	区分外
	急性毒性 (吸入・ガス)	区分外
	急性毒性 (吸入・蒸気)	区分外
	急性毒性 (吸入・粉じん・ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外
	呼吸器感作性または皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	区分外
	生殖毒性	区分 2
	特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)	区分外
	特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露)	区分外
	急性呼吸器有害性	区分外
環境に対する有害性:	水生環境性有害性	区分外
	水生環境慢性有害性	区分外

表示またはシンボル



注意喚起語 : 危険

有害性情報 : 極めて可燃性/引火性の高いエアゾール
引火性の高い液体および蒸気
ミスト・蒸気を吸入すると眠気またはめまいの恐れ
生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い

注意事項 :

予防策 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
可燃性の液体であり、蒸気は引火、爆発を起こすことがあります。
火気を近づけないこと。
静電気による火災が起こる可能性があります。
換気のよい場所で使用してください。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱後は手をよく洗うこと。

対応策 : 火災の場合には、適切な消化方法をとること。
吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移し呼吸しやすい姿勢で休息させること。
飲み込んだ場合は直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせない

こと。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。

皮膚に付着した場合は、多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激を生じた場合医師の診断、手当てを受けること。

医師の診断が必要な場合製品容器またはラベルを手元に用意すること。

応急措置をする者の保護 現在のところ有用な情報なし

医師に対する特別注意事項 現在のところ有用な情報なし

保管 直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。
子供の手の届かない場所に保管すること。

廃棄 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に委託する。(不明な場合：購入先に相談の上適切な処理をすること。)

<有害性> : 本品は、可燃性エアゾールです。本圧力容器は高熱及び裸火に接触する場合、破裂ないし爆発する可能性がある。
接触した場合、目及び皮膚に敏感な体質の人はアレルギー性皮膚炎症が生ずる可能性及び吸引した場合には、吐き気、胃腸不良及び下痢を起こす可能性がある。

<分類の名称(分類基準は日本方式)> : 分類基準には該当しない。

健康に考慮すべき潜在要因

HMIS 危険度

健康 : 2

引火性 : 4

反応性 : 0

防御の必要性 : B

注意 : 数字での危険度合は、当該品の相対的危険度をのみ表示している。使用者は、本品を使用する前に、この SDS を熟読および理解する必要がある。

可能性のある侵入経路 : 接触及び吸引

対象内臓 : 中枢神経組織、肺、皮膚、眼。

過度の暴露により即刻起こりうる兆候

接触した場合(皮膚) : 炎症を生じ、長期ないし連続的な接触では乾燥及び脱脂が起こる可能性がある。

(眼) : 炎症を生じ、刺痛、赤目、腫れ、霞目等の兆候がある。同兆候が発症した場合には、至急医師の診察が必要です。

皮膚にしみ込んだ場合 : 危険である。

吸入した場合 : 呼吸器系に炎症を生じ、過度の吸引は頭痛、めまい、吐き気を起こす。

摂取した場合 : 胃炎、吐き気、嘔吐、下痢を起こす。

過度の暴露により長期的に起こりうる兆候

- ガンに関する情報： 本品構成組成中 1%を超える物質で、IARC, NTP, OSHA の発がん物質リストに記載されているものはない。
- 慢性的影響： 長期間暴露による健康への影響について Bostik は承知しない。
- 過度暴露の兆候： 炎症（皮膚及び眼）、頭痛、めまい、吐き気、嘔吐、下痢。
- 暴露による悪化する健康状態： 現在生じている皮膚炎が悪化することがある。

SECTION 4 - 応急処置

接触した場合（皮膚 及び 目）

- 目： 直ちに多量の水で、少なくとも 15 分間目を洗う事。時々上下まぶたを持ち上げながら行う事。医師の診断を受ける事。
- 皮膚： 汚れた衣服を脱ぐ事。大量の石鹼及び水で汚れた皮膚を洗う事。炎症、発疹、その他症状がひどくなった場合は、医師の診断を受ける事。
- 吸入した場合： 新鮮な空気のところへ移動する事。もし呼吸が無い場合、人工呼吸を行うこと。医療施設に搬送すること。
- 摂取した場合： 本品が噴霧されていない場所に移す。犠牲者が呼吸停止の場合は、人工呼吸を行い、同症状が改善されない場合は、内科医の診断を受ける事。

SECTION 5 - 火災時の処置

- <消火方法>： 本品は、常温下にて火花及び裸火曝されると着火する可能性がある。本気体は、空気より重い為、本品噴霧地域の地面に着火原因になるものを近づけない事。本容器は、火花及び裸火に曝されると破裂ないし爆発する可能性がある。空容器には、可燃性物質及び爆発性気体が残っている可能性が有る為、切断、穴あけ、研磨、溶接等を行わない事。下記消化剤を用い、ヘルメット（防護マスク）、防護服、呼吸器、防護グローブを着用にて、消火活動を行う事。

燃焼性データ

引火点 °C	: -104
最低爆発限度 %	: 入手不可
最高爆発限度 %	: 入手不可
自然発火点 °C	: 入手不可

火災・爆発危険性： 本品は燃焼し、有毒ガスを発することがある。

煤塵爆発危険性： Bostik では危険性を承知していない。

機械的衝撃への感度： 可燃性気体の膨張の為、容器の破裂ないし破壊により、機械的衝撃が起こる。

静電気放電への感度： 火花は、本品及び気体の静電気放電により着火を促進する。容器は、アースに繋ぐ等してリスクを極小化する事。

消化剤： 水スプレー、あわ、固形化学品、二酸化炭素

危険性燃焼発生物： 火災で発生する危険性ガスには、炭素および種々炭化水素の酸化物を含む。高温に曝された容器は、残余気体が膨張により容器を破裂させる可能性がある。

SECTION 6 - 漏出時の措置

洩出物清掃方法

漏洩地区に人の出入を禁止し、漏洩物の流出を止め、不燃性の吸収剤にて吸収し、化学廃棄容器に保管する事。

健康への考慮と保護具

個人的な保護具の必要性は、本 SDS シートにて提供される情報、洩出により引き起こされる特別な環境、洩出物質、洩出量、洩出が起こった地域に基づき決定されるべき事。

SECTION 7 - 取り扱い及び管理上の注意

取り扱いおよび保管上の予防処置

火元を無くし、目にかからぬ様避ける事。皮膚に長期間接触させない事。

換気の良い場所にて、使用する事。空の容器は、再利用しない事。

冷暗所（室温 49°C以下）に保管し、火元および陽の光を遠ざける事。

SECTION 8 - 暴露防止措置及び保護措置

排 気 管 理 : 本品気体が作業場に堆積しない様に、局所排気装置の設置、全体換気を適正に行う事を推奨。

< 許 容 濃 度 > : Section 2 参照

呼 吸 の 保 護 : NIOSH 認証マスクの着用を推奨。

目 の 保 護 : ゴーグル型反故眼鏡の使用を推薦する。

皮 膚 保 護 : 不浸透性保護グローブ、保護服の使用を推奨する。

SECTION 9 - 物理的および化学的性質

製 品 外 観 : エアゾール、溶剤臭

比 重 : 0.79 (水 : 1)

密 度 : 0.79 (10.1 lb/gal)

水 溶 解 性 : 0.0 %

揮 発 性 (重量) : 60%

揮発性有機化合物 (VOC) : 50%

蒸 気 圧 力 : 未測定

沸 点 : 未測定

蒸 気 : 未測定

蒸 発 率 : 未測定

凍 結 点 : 未測定

臭 限 界 : 未測定

オクタノール / 水係数 : 未測定

SECTION 10 - 安定性および反応性

安定性 : 当該品は、通常の温度および圧力下では安定している。

危険な重合化 (反応性) : 発生しない。

避けるべき条件 : 強酸化剤との接触を避けること。

SECTION 11 - 有害性情報

急性 (短期間) 毒性

成分	CAS No.	LD50, 吸入 (ラット)	LD50, 口径 (ラット)	LC50, 吸入 (マウス)
ヘプタン	142-82-5			103g/m ³ /4H
アセトン	67-64-1	76mg/L/4H	1,800mg/kg	20,000mg/kg

ブタン	106-97-8	658g/m3/4H
プロパン	74-98-6	658mg/kg

慢性（長期間）毒性およびその他情報

長期間暴露による健康への影響について Bostik は承知していない。

SECTION 12 - 環境影響情報

移動性：現在のところ有用な情報なし

残留性・分解性：現在のところ有用な情報なし

生態蓄積性：現在のところ有用な情報なし

魚毒性：現在のところ有用な情報なし

その他：VOC: 473g/l 有機溶剤は、水生全体に対しに微少の毒性を与えている。

SECTION 13 - 廃棄上の注意

<焼却処理する。Section 7 取扱いおよび管理上の注意に準ずること。又、Section 5 火災時処置 および Section 10 危険性情報を参照のこと。>

国及び地方自治体のすべての法規に準じて廃棄すること。地方自治体の要求は地域により大きく異なる場合がある。

SECTION 14 - 運送上の注意

<注意事項：Section 7 取扱いおよび管理上の注意に準ずること。>

<国連分類：ORM-D>

米国 ICAO 及び IMDG 分類：Class 2.1, UN1950

SECTION 15 - その他の法律

日本：

<消防法> : 第4類 第1石油類

<毒物劇物取締法、高圧ガス取締法、船舶安全法、航空法> : 危険等級II

<労働安全衛生法> : 第57条の1 名称表示すべき有害物質 アセトン
有機溶剤中毒予防規定（該当なし）

第57条の2 第1項 SDSの対象となる化学物質

アルミニウム(別表 9-37)、銅 (別表 9-379)

ブタン (別表 9-481)、ヘプタン (別表 9-527)

<廃棄物処理法> : 一般産業廃棄物

<P R T R法> : 非該当

<水質汚濁防止法> 銅、アルミニウム

米国：

SARA TITLE -- 次の成分は SECTION 313 で該当する。

CAS 番号	化学品名
142-82-5	ヘプタン
7440-50-8	銅
67-64-1	アセトン
7429-90-5	アルミニウム片

OSHA で危険と規定する量に満たない微量で存在している化学成分は、
炭酸リチウム
発癌性がある化学物質としてカリフォルニア州で認識されているもの。

CAS 番号 化学品名

該当物質無し

進行性を有する危険化学物質としてカリフォルニア州で認識されているもの。

CAS 番号 化学品名

該当物質無し。

女性生殖機能に危険性を有する危険化学物質としてカリフォルニア州で認識されているもの。

CAS 番号 化学品名

該当物質無し。

男性生殖機能に危険性を有する危険化学物質としてカリフォルニア州で認識されているもの。

CAS 番号 化学品名

該当物質無し。

有毒物質規制法令（TSCA）目録——

当該品の全ての成分は、TSCA 化学物質目録に記載されている(記載されていると届け出が免除)か、ないしは記載義務が免除されている。

Canadian Workplace Hazardous Materials Information System（WHMIS）リスト——

当該品の全ての成分は、同リスト(WHMIS)に記載されている。
Class D Division 2 Sub-division B 及び Class B Division 5。

欧州 EINECS リスト ——

当該品の全ての成分は、EINECS 目録に記載されているか、ないしは重合体免除条項に基づき記載義務を免除されている。

当該品は製品管理法規の危険基準に沿い分類されており、製品管理法規により要求されている全ての情報を開示している。

SECTION 16 - その他情報

重要注意事項：

ここにある全ての記載事項、技術情報及び推薦項目は Bostik が信頼出来ると判断した情報ないし試験に基づいている。しかしながら、Bostik はこれらの正確性ないし完全性について保証はできない。従って当該品の購入者は使用前に独自にテストを実施して適切な技術上の準備の取り決めと使用目的への適応性を見極めるべきである。Bostik の当該品販売は Bostik の注文請書に記載される取引条件に限定される。要約すると、Bostik が保証するのは、当該品が当該品仕様書に合致しており、正規に使用されれば欠陥がないということである。この保証に反して欠陥が生じた場合の Bostik の唯一の責務は製品の交換である。Bostik は上記に言う交換を除き、直接的、間接的、経済的ないしその他一切の損害に対しては責任を負わない。

以上